

長崎大学 歯学部

2025 学部案内

NAGASAKI UNIVERSITY

School of
Dentistry



基本的教養と幅広い歯科口腔医学専門知識を修得し、

今後の歯科口腔医学、歯科口腔医療を切り拓くとともに

社会に信頼される歯科医師および研究者を養成する。

未来につながる第一歩。 夢への挑戦。



Contents

- | | | |
|---------------|--------------------|--------------------|
| 02 学部長あいさつ | 07 歯学部研究室紹介 | 15 キャンパスライフ・サークル活動 |
| 03 歯学部のカリキュラム | 12 卒業生、在学生からのメッセージ | 17 施設紹介 |
| 05 歯学部の特色 | 13 歯学部の入試システム | 18 長崎について |

Message

リサーチマインドをもった歯科医師の養成を目指して

長崎大学の歴史は古く、安政4年(1857年)の医学伝習所が長崎大学の創基です。長崎大学歯学部は1979年に設立された、岡山大学とともに我が国でもっとも新しい国立大学歯学部です。卒業生はこれまでのところ2,230名となり、地域医療、大学での教育・研究、行政などにおいて多くの卒業生が活躍しています。

歯科医師は歯科医療および保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上および増進に寄与し、国民の健康な生活を確保するものとされています。歯科治療にはカリエス(むし歯)、歯周病の処置およびこれらの予防、冠や義歯の装着、歯列矯正、インプラント処置、抜歯、骨折、腫瘍などの口腔外科的処置、さらに高齢者の摂食・嚥下リハビリテーションや腫瘍などで病院に入院されている患者さんの口腔機能管理など、従来よりも非常に広い範囲の業務を担っています。さらに少子高齢化の社会情勢に伴い、「歯の形態の回復」から「口腔機能の回復」という概念に歯科医療が変化しています。歯科医師は口腔機能の回復を通じて、国民のQOL(生活の質)そして健康寿命を延伸させるという重責を担っています。そして高い倫理観をも要求される職業の一つです。

本学歯学部では時代の変化そして社会の要請に応じた歯科医師の養成を目指すカリキュラムによる教育を実践しています。

まず入学後の教養教育の期間では、リベラルアーツ教育の充実が図られています。もともとの語源はその時代を自由人として生きるのに必要とされる学問ということですが、これから充実した人生を歩むためにはとても重要な教育です。

歯学の専門教育では、歯学領域の基礎系科目および臨床系科目、関連臨床医学などを学び、共用試験(CBT、OSCE)のうち、臨床実習(診療参加型)を行います。2年生から解剖実習が始まりますが、この実習を通じて、「生命の尊厳」を学び考え、そして学生諸氏は将来自身の職業となる歯科医師としての義務と責任を自覚します。本カリキュラムでは、研究に関する科目も含んでおり、「リサーチマインドの涵養」を目指しています。

このようなカリキュラムを通じて、私たちは以下の能力を有する歯科医師を養成したいと考えています。

- 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。
- 歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。
- 歯科口腔医療を行える基本的臨床能力を身につけている。
- 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。
- 歯科口腔医療の現場における問題発見・解決能力を身につけ、リサーチマインドを修得している。
- 多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端的医療を実践するために、生涯にわたり自己主導型学修を継続できる。
- 患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。
- 患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。
- 多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。
- 離島へき地をはじめとする地域・国際社会に貢献する強い意思を持って、歯科口腔医療を実践できる。
- 未来の医療を切り拓くための先端的研究に興味を持ち、歯科口腔医学の発展に貢献できる能力を身につけている。

本学歯学部歯学科(学士課程)の教育の質については、公益財団法人大学基準協会による分野別評価を受審し、同協会の歯学教育に関する基準に適合していると認定されています。

皆さまもご存じのように、長崎は江戸時代、鎖国で閉ざされていた日本で唯一、海外と貿易ができる町でした。そのため、長崎は中国、オランダの文化が混ざり合った和華蘭文化の町です。この魅力的な都市で、歯科医学を学び、そして充実した大学生活を経験してみませんか。長崎大学歯学部教職員一同、皆様をお待ちしております。

歯学部長
村田 比呂司
MURATA Hiroshi



歯学部のカリキュラム

コア・カリキュラム

1年次

2年次

3年次

教養教育で幅広い教養を身につけ、さらに専門教育の入門として細胞生物学などの基本を学びます。

教養教育

- 早期体験実習
- 歯学展望
- 解剖学（骨学）
- 歯科医師のコンピテンシー
- etc



教養教育の履修のほか、歯学領域の基礎科目を学びます。

教養教育

- 解剖学
- 発生学
- 組織学
- 生理学
- 生化学
- etc

講義及び実習

長崎大学歯学部
グローバルインターンシップ・プログラム



歯学領域の基礎科目(本学独自の科目を含む)の履修のほか、歯科医師として必要な全身の医学を学びます。また、博士(歯学)の学位取得を前提とする歯学研究コースを選択した場合は研究の基礎知識・基本手技も学びます。

病理解剖学

微生物学

薬理学

口腔解剖学

口腔組織学

Scientific and Practical English

コミュニケーション教育・実習

歯科東洋医学

医学統計学

etc

講義及び実習

関連臨床医学 (内科学、外科学、隣接医学等)

基礎歯学研究概論

基礎歯学研究

歯学研究コース

大学院進学のメリット

長崎大学には大学院医歯薬学総合研究科があり、博士課程は原則4年です。この4年間で得ることができる高い知識と技術は、学部教育の6年間で得た基礎的な知識と技術とは根本的に異なります。大学院の間には無数の論文を読みこみ自分の研究に必要な知識を身につけます(リサーチ能力の涵養)。研究がある程度まとまつたら、日本または海外の学会で発表をして、討論します。さらに研究を洗練した後、論文にまとめて世界へ発信します(論理的・科学的に考察し発表・討論する能力の涵養)。これらの能力は、臨

床においても患者の疑問に論理的かつ的確に答え、エビデンス(科学的根拠)に基づいた治療を選択するという点で非常に役立ちます。さらにその能力を身に付けることによって、自らが指導的役割を担う歯科医師として一般歯科医院だけでなく大学病院や公的機関など活躍の場が広がります。なお、歯学部の博士(歯学)の学位取得を前提とする歯学研究コースを選択して長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)に進学した場合には、独自の基準による3年次早期修了の道が開かれています。

大学院進学者は原則としてすでに歯科医師として登録されていますので、指導教員(主任教授)の指導方針によりますが、学業に支障を来さない程度(一般におおよそ週に1回程度)で歯科医師として働きながら学ぶことも可能です。また、長崎大学には社会人大学院の制度があり、この場合は歯科医師として医療施設で働きながら余裕のある時間に大学に通って博士(歯学)の学位を取得することができます。

独自カリキュラム

4年次

歯学領域の臨床科目の履修のほか、専門教養科目として基礎的な臨床歯科英会話を学びます。博士（歯学）の学位取得を前提とする歯学研究コースでは臨床研究の基礎知識・基本診療技術も学びます。

予防歯科学
歯科矯正学
保存修復学
歯周病学
冠橋義歯学
歯科麻酔学

小児歯科学
歯内治療学
口腔外科学Ⅰ・Ⅱ
歯科放射線学
有床義歯補綴学
統合科目（一部）
実践臨床歯科英会話

etc

講義及び実習
臨床歯学研究概論
基礎歯学研究



5年次

4年次までに身につけた歯学および医学知識をもとに、統合科目（本学独自の内容、Problem-Based Learningを導入）で各分野の枠組みを越えて疾患に関する総合的な判断力を養成します。博士（歯学）の学位取得を前提とする歯学研究コースでは、さらに少人数指導のもとで基本的な研究を体験します。後期から臨床実習が始まります。

前期	口腔インプラント学	高齢者歯科学
	障害者歯科学	摂食嚥下リハビリテーション学
CBT, OSCE	社会歯科学	統合科目
統合医療学、離島歯科医学など本学独自の科目を多く取り入れています。		
※1部4年次で開講		
後期	臨床実習 (診察参加型)	歯学研究 歯学研究コース

6年次

本格的な診療参加型臨床実習（本学の特徴）を開始するとともに、歯科医師国家試験の準備をします。博士（歯学）の学位取得を前提とする歯学研究コースにおいては、指導教員とともに優れた成果を出せば学会発表を行うことも可能です。

前期	基礎歯学輪講	臨床実習(診療参加型)
	臨床歯学セミナー	臨床知識理解度試験
POST-CC PX	歯学研究 歯学研究コース	
歯科医療管理学		高次口腔医療学
卒業試験		

卒業

国家試験 → 歯科医師

卒後教育

大学院生

臨床研修医(原則1年)

大学院博士課程(4年)進学

修了

博士（歯学）

A 歯科医師として 医療施設に就職
(個人開業医、総合病院等)

B 歯科医師、博士（歯学）として
医療施設、行政分野に就職

C 歙科医師、博士（歯学）として
大学、研究機関に就職
(大学教員等として歯科医療、研究および教育に従事)

大学で高い知識と技術を
身につけた後に、医療施設
に就職または個人歯科医
院を運営することも可能

歯学部の特色

特色
ある教育

1

患者の目線で行動できる歯科医師を養成

早期体験実習・離島歯科医療実習



患者の目線で行動できる歯科医師養成のために、多くの臨床実習を取り入れています。1年次の早期体験実習では、前期に学内の臨床分野を回り、今後の学習への意欲を高めます。後期には長崎市内を中心とした開業歯科医院や総合病院などにおいて、歯科医療の現場を見ることができます。

また、地域医療にも力を入れており、平成21年度からは5～6年次に五島市での離島歯科医療実習を開始しています。この実習では医学部、薬学部との共修の保健・福祉プログラムもあり、将来の医療チームとしての連携や、他職種との共同活動が念頭に置かれています。離島実習は離島が多い長崎県ならではのもので、地域歯科医療振興のために今後さらなる内容の充実を図っています。

1年次から歯科医療の現場に触れ、歯科医師の心構えが持てる

長崎ならではの離島の抱える問題にかかわり、地域医療に貢献できる

実習で患者と触れ合うことでコミュニケーション能力が向上する



特色
ある教育

2

独自のカリキュラムで先進的な教育が受けられる 未来の歯学界を切り拓く独自のカリキュラム



全国の歯学部共通のコア・カリキュラムに加えて、ユニークな科目群を採用しています。大きな特徴は、4～5年次の「統合科目」が挙げられます。グループディスカッションの形式で、問題基盤型学習(PBL)により学生自らが問題を発見し、これまで学んできたさまざまな分野の知識を駆使しながら問題解決する力をきたえるものです。医療倫理・プロフェッショナリズム教育学、臨床解剖学などがあります。また超高齢社会の歯科医療に対応する科目(高齢者歯科学、摂食嚥下リハビリテーション学など)の充実も図っています。

3年次のコミュニティ教育・実習では、外部講師を招いて地域社会における歯科医師の役割を学びます。また長崎大学歯学部グローカルインターンシップ・プログラムでは、幅広い知識の習得を目指します。これから時代の変化に応じた歯学教育を展開しています。

統合科目で積極的に課題と向き合う問題解決能力をきたえる

問題基盤型学習(PBL)により、疾患に関する総合的な判断力が身につく

グローカルインターンシップ・プログラムでは、幅広い知識の習得を目指す



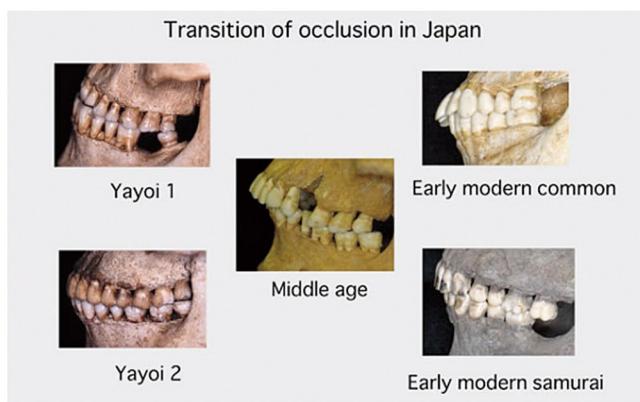
歯学部研究室紹介

基礎系

01 頸顎面解剖学

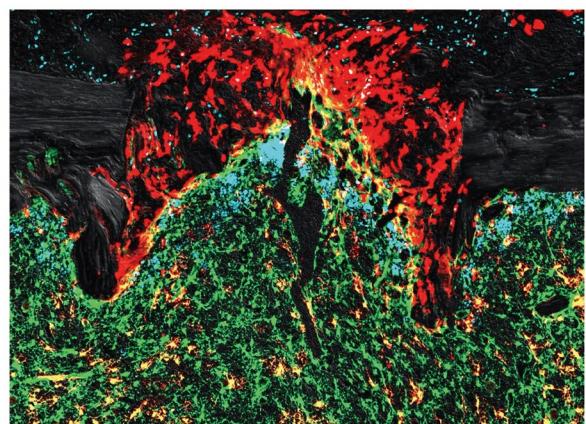
歯を中心とした顎顎面領域の形質人類学的研究を行っています。歯の形態の時間的・空間的変異をもとに、人類地域集団の起源、拡散、混血、置換などの集団史の解明を進めています。また当時の口腔領域の疾患の集団間変異について古病理学的研究を進めています。

さらに人骨から抽出されたミトコンドリアDNAの分析を行い、人類地域集団の系統解析を行っています。



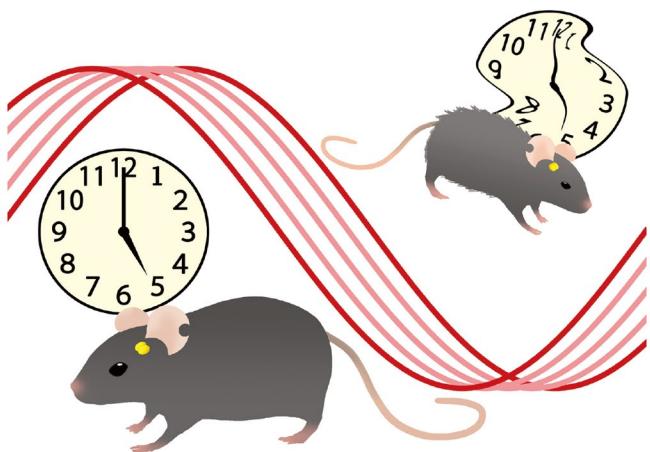
02 細胞生物学

口腔がんや歯周病によって失われた顎骨の再生は歯科領域における永遠の課題です。骨の幹細胞は骨の再生、骨の発生、さらにはがんの進展にも関与していると考えられていますが、どこに存在しているかさえ正確に分かっていません。当研究室では遺伝子改変マウスを使って骨の幹細胞を見つける出し、その細胞運命とともに全容の解明を目指しています。医学、工学、化学、情報科学など、様々な分野と密に連携を取りながら生命現象の本質を明らかにする研究、そして何より「おもしろい！」と思える研究に取り組んでいます。



03 加齢口腔生理学

当研究室は“加齢”という時間軸に沿った生理機能の変容を冠した、世界的にもユニークな生理学教室です。生理学はホメオスタシス（恒常性）が大前提ですが、生体の機能は1日の中でダイナミックに変動します。生理機能の変動リズムを制御するのが視床下部に存在する「体内時計」です。我々は体内時計の神経回路メカニズムを解明することで、加齢に伴う生体機能の減弱を補い、超高齢化社会におけるQOL（生活の質）を確保するべく研究を進めています。



04 口腔病理学

病理では病院での生検や切除された病変の標本を実際に診断していることから、外科材料を用いた研究ができることが大きな強みであり、また、病理学にはこうした貴重な標本を用いて歯科医学の発展に貢献する責任もあります。従って当分野では、口腔病理専門医として病理組織診断を行いながら、疾患の発生・成立のメカニズムを明らかにする研究を進めています。

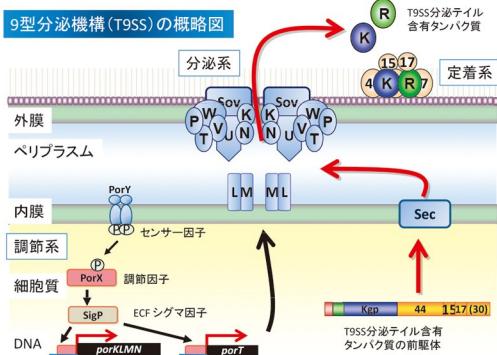
特に、口腔扁平上皮癌、歯原性腫瘍、唾液腺腫瘍などを対象として、形態学的及び分子生物学的研究を行っています。



05 口腔病原微生物学

歯周病は嫌気性細菌による感染症です。とくに重要な歯周病原細菌として*Porphyromonas gingivalis*が挙げられます。私たちは本菌の病原性を明らかにするため、おもに分子遺伝学的方法を用いて研究しています。本菌から分泌される強力なタンパク質分解酵素の研究から、新たに細菌の分泌機構(9型分泌機構)を発見し、現在、その全容を解明する研究を行っています。

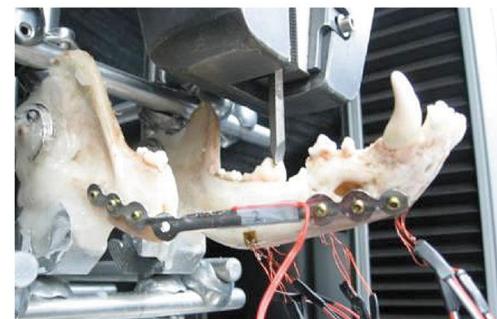
さらに他の歯周病細菌の病原因子の解明も行っています。



07 生体材料学

当分野で行っている研究の主なものは次の通りです。

- ①選択的薬剤徐放を可能にする歯科・生体材料の開発
- ②表面化学修飾による歯科用合金の高機能化(金属アレルギー抑制・抗菌性など)
- ③骨形成におけるフェロトーシス抑制機構の解明と生体材料への応用
- ④高韌性生体活性ジルコニアインプラントの創製
- ⑤インプラント材料や歯内療法材料、矯正用材料の各種特性評価



08 分子腫瘍生物学

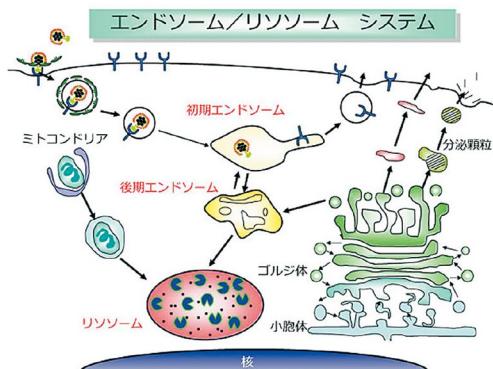
「がん」をはじめとする悪性腫瘍の克服は、人類の大きな挑戦です。人の命を奪う怖いイメージが強い「がん」ですが、その「がん」を研究することで、生命科学は発展してきました。

当分野では、骨関連細胞由来の悪性腫瘍・骨肉腫の発症のメカニズムを、遺伝子改変マウスを用いて研究しております。またその骨肉腫の解析で得られた知見をもとに、広く「がん」の悪性化機構の解明を目指します。



06 歯科薬理学

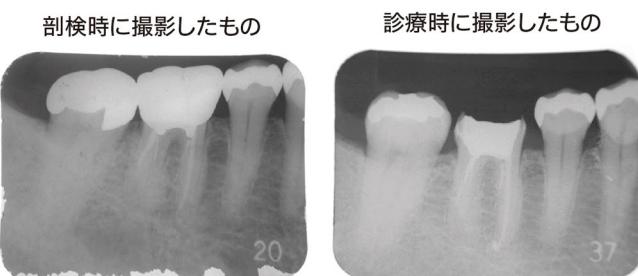
細胞内に存在するリソソームの機能と病態について研究を行っています。リソソームには様々な加水分解酵素が含まれており、リソソームの機能異常は、様々な病態を引き起こします。リソソーム機能を制御する分子、特に歯科領域と関連の深い遺伝子やタンパク質の解析を通じて、新しい創薬のターゲットを探していくたいと考えています。



09 歯科法医学

近年、歯学教育モデル・コア・カリキュラム、歯科医師国家試験出題基準に歯科法医学領域の項目が新たに加わり、歯科法医学の学術的及び社会的意義は大きくなってきました。

当分野では、個人識別に有用な年齢推定の方法、死後CT画像の活用、虐待に関する研究を進めています。また、児童相談所や警察歯科活動を通して社会貢献にも力をいれています。



レントゲン画像を用いた該当者との異同識別

歯学部研究室紹介

基礎系

臨床系

10 フロンティア口腔科学分野

免疫応答は生体の健康維持に必要不可欠ですが、ときに過敏反応としてアレルギー疾患や重度歯周炎などを引き起こします。我々は免疫細胞における小胞輸送を探ることで、アレルギーや炎症発現のメカニズムを解明し、病態を抑える新規治療法を探索しています。

また、歯周病細菌の全身に及ぼす影響やバイオフィルム拡張メカニズムの解析も行っています。



01 先進口腔医療開発学分野

医療・科学の技術が革新的に進歩する中で、最先端の医療技術サービスの実現化に社会から大きな期待が寄せられています。本分野では、プラネタリーヘルスへの貢献を念頭に、口腔領域の難治性疾患(シェーグレン症候群などによる唾液腺疾患や、顎骨腫瘍手術後などによる顎骨・歯槽骨欠損、骨系統疾患など)を対象に、再生医学を中心とした先端医療開発(末梢血から誘導した免疫細胞や脂肪組織由来の間葉系幹細胞、iPS細胞などを利用した新たな治療用細胞の開発)の基礎研究及び非臨床試験・臨床試験に専門的に取り組んでいます。



02 口腔保健学

当分野では、口腔健康と健康寿命の延伸に関する課題に対して関連する分野と連携して研究を行なっています。

- ① 口腔疾患と全身の関連性についての五島調査研究
- ② 医科と連携した歯科診療と口腔支持療法
- ③ 医科治療に伴う口腔有害事象の臨床研究
- ④ 地域における歯科保健事業、公衆衛生システムに関する研究
- ⑤ 薬剤関連顎骨壊死に関する共同研究
- ⑥ 有効な口腔ケア方法の確立に関する細菌学的研究



03 歯科矯正学

不正咬合の発生機序を、顎顔面頭蓋の形態的あるいは機能的な異常の両面から把え、矯正力を作用させた際の歯列、咬合、顎の成長の変化及び歯の移動のメカニズムを解明することを研究課題としています。



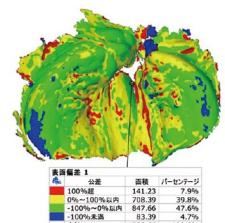
04 小児歯科学

当分野では、小児に関する歯学全てを研究対象としており、以下のような課題の研究を関係分野とも協力しながら行っています。

- ① 齧歎病原性細菌の病原因子に関する研究
- ② 齧歎予防材料に関する研究
- ③ 小児期の咬合に関する研究
- ④ 心身障害・全身疾患・先天性疾患有する患児の口腔管理に関する研究
- ⑤ 顔面頭蓋の成長発育に及ぼす要因についての研究



歯科用CTによる混合歯列期の3D画像

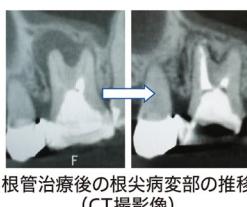


乳児口蓋裂の口腔内スキャナ→3Dプリンター出力

05 歯周歯内治療学

超高齢社会に突入した本邦において、歯科の二大疾患である歯周病と齲歎(それに続く歯髓炎、根尖性歯周炎)の病態をより深く解明し、新規の治療法を開発することは、歯の延命を介して「食べる」、「話す」といった日常生活動作の維持・向上に貢献します。そこで、当分野では、これらの疾患の効率的な治療・予防法の確立を目指し、以下のような研究を展開しています。

- ① 歯周病原細菌および歯石の歯周組織に対する為害作用
- ② 歯周病の診断法及び器材の開発
- ③ 根管治療の器材及び薬剤の開発
- ④ 歯周組織及び歯髓再生療法の開発



根管治療後の根尖病変部の推移
(CT撮影像)

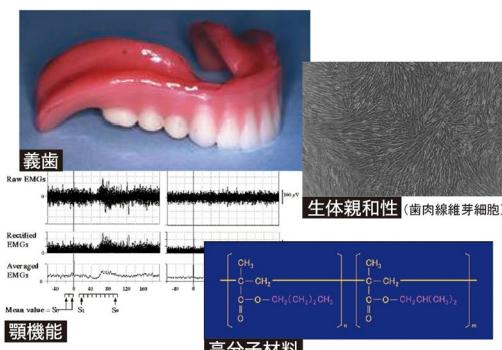


歯周病患者と口腔衛生状態が良好な人の口腔内の比較

07 歯科補綴学

歯科補綴学領域において、実用化を目指した研究を行っています。

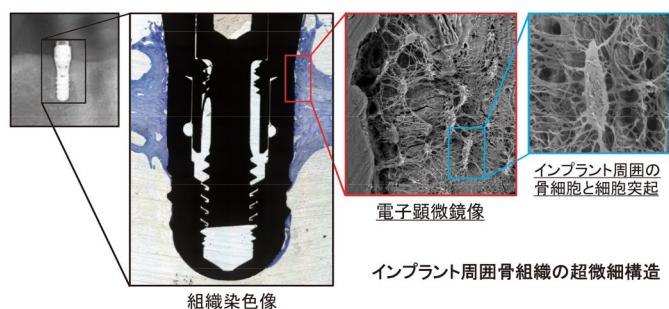
- ① リライン材および義歯安定剤の開発と臨床応用
- ② 頸口腔系の被調節性と顎運動系の機能的診断
- ③ 補綴歯科領域の臨床研究
- ④ 義歯のケア
- ⑤ 老年歯科 医学
- ⑥ AIを応用した食塊形成能の解析



06 口腔インプラント学

インプラント治療を含む歯科補綴治療を成功させるために、補綴に関わる基礎研究からトランスレーショナルリサーチまでを、高い専門性を生かして行っています。

- ① インプラントにおける荷重と骨質との関連性
- ② 接着性を向上させるための基礎研究
- ③ 高分子・複合材料・セラミックスの創製と臨床応用
- ④ 薬剤関連顎骨壊死の病因究明と治療方法の開発



08 保存修復学

近年、若者のう蝕は少なくなっていますが、高齢者のう蝕が増加しています。当部門では、最新の人工材料を用いてう蝕を治し、失われた歯の形態、色調、および機能を回復します。一生涯自分の歯で食事ができるよう、また治療した歯が何年経っても美しく保たれることを目指して、臨床ならびに研究に取り組んでいます。

- ① う蝕の制御
- ② 象牙質改質剤の開発
- ③ 歯と接着性樹脂の結合改善
- ④ 歯の代替となる材料の耐久性評価
- ⑤ 歯および修復物表面の保護コーティング法開発



歯学部研究室紹介

臨床系

09 口腔顎顔面外科学

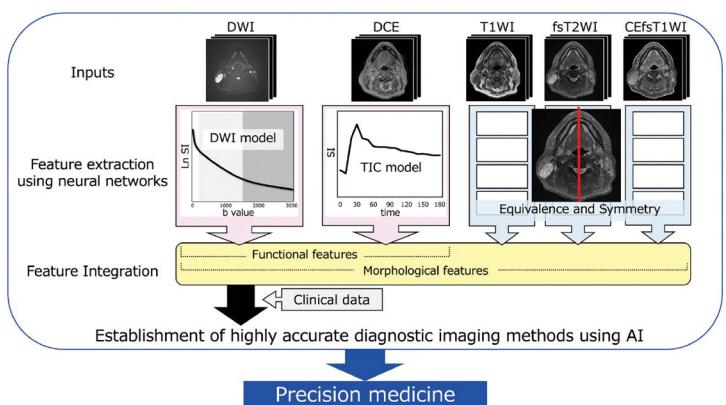
口腔癌や顎変形症をはじめとしたさまざまな口腔疾患のより良い治療法の開発を目指した研究を目指している。具体的には現在下記のテーマについてクリニカルクエスチョンを解決すべく基礎的および臨床的研究を行っている。

- ① 口腔癌の治療に関する基礎的・臨床的研究
- ② 口腔癌の分子標的治療開発に関する研究
- ③ 顎顔面の変形症や先天異常にに関する基礎的・臨床的研究
- ④ 薬剤関連顎骨壊死に関する研究
- ⑤ 顎口腔の再建に関する基礎的・臨床的研究
- ⑥ デジタル技術を用いた治療支援システムに関する研究



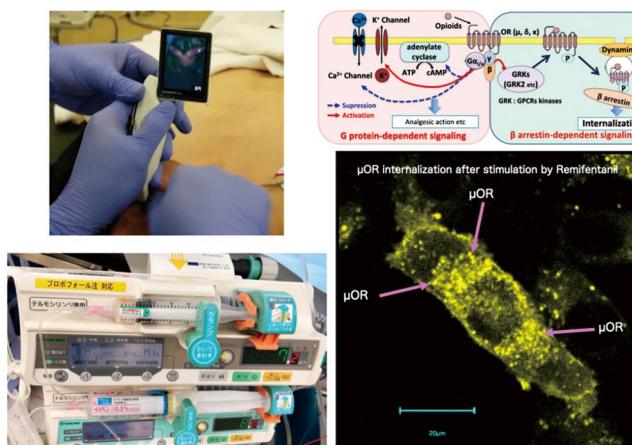
10 口腔診断・情報科学

- ① 高精度画像診断法の開発：頭頸部領域の様々な病変を対象に、MRIやCT、超音波、PET/CTなどの画像モダリティから得られる情報と、最新のAI技術を利用して、新しい高精度画像診断法の開発を行っています。
- ② 分枝腫瘍学：細胞死を誘導するストレス（放射線、低酸素、抗がん剤）に対する細胞死経路について研究を行っています。



11 歯科麻酔学

- ① 口腔外科手術や歯科治療のための安全な周術期管理
- ② 麻酔薬と上気道開通性に関する研究
- ③ オピオイド受容体の耐性形成メカニズムの解析
- ④ 顎口腔顔面領域の痛みに関する研究
- ⑤ 快適で安全な新しい鎮静法の開発



12 総合歯科臨床教育学

専門の枠にとらわれない歯科診療一般をもとに、卒前臨床実習ならびに卒後臨床研修を担当しています。効率的な診療参加型臨床実習を行うためのカリキュラム構築や新しい臨床能力評価法の検討および診療技術向上システムの開発を主な研究テーマとしています。



卒業生、在学生からのメッセージ

卒業生

川崎 華子

長崎大学医歯薬学総合研究科 小児歯科学分野
平成28年度卒

多様なニーズに応えられる 歯科医師を目指して



皆さんは歯科にも様々な専門分野があることをご存知でしょうか。長崎大学病院歯科には10以上もの診療科があり、各専門分野に特化した治療や研究活動、入院患者さんへの歯科治療が行われています。

現在日本は超高齢社会になり、日々の診療において様々な全身疾患有する患者さんに歯科治療を行うことは決して珍しい事ではありません。また、病院完結型から在宅医療に基盤をおいた地域完結型への転換に伴い、訪問歯科診療を必要とする患者数も年々増加しているのが現実です。歯科医師は単に患歯だけを診るのではなく、患者さんの全身状態や服薬状況を把握した上で最善の治療方法を選択し、チーム医療の一員として患者さんのためにより良い医療を提供できる人材が求められていると感じます。

長崎大学では幅広い知識・技術の習得はもちろんのこと、他学部との共修や部活動を通じ医療人として必要なコミュニケーション能力が身につき、充実した楽しい学生生活を送ることができます。ぜひ、長崎大学で私達と一緒に学び歯科医師への第一歩を踏み出してみませんか。

在学生

水谷 舞

歯学科 2年次生

長崎大学で実りある 大学生活を



1年生は、専門科目を坂本キャンパスで週2回、教養科目を文教キャンパスで週3回学びます。専門科目では、歯科の知識の基盤となる人体の構造や生物科目の発展的な内容を学びます。開業医の先生方や大学で研究されている先生方のお話を聞く授業もあり、将来の選択肢が広がる良い機会となっています。教養科目では、言語を中心に、歯科に限らない自分たちの興味のある分野の科目を選択して学びます。多くの学部が集まっている文教キャンパスで学ぶため、他学部の人と関わる機会もあり、交友関係や視野を広げることができます。

歯学部は1学年50人と少人数のため、同学年のみならず他学年、卒業後の先生方とも深い繋がりがあります。部活動や歯学部祭はこのような人脈を広げる交流の場ともなっています。

多様な歴史と文化を持つ長崎の地で皆さんと一緒に学べる日を待ちにしています。

在学生

前田 遼太

歯学科 4年次生

6年間の大学生活を 実りあるものに!



長崎大学歯学部では、2年生までに組織学、解剖学などの基礎的な科目を学び、3年生からは歯科薬理学や口腔病理学をはじめとした歯科分野と密接にかかわる分野を学んでいきます。3年生になってから一気に科目数が増える一方で、だんだん自分も歯科分野について習得することが増えてきたんだなとモチベーションが上がったように感じます。先生方も歯科に関わる分野に精通した方が多く、毎日さまざまなものを吸収することができます。

また、授業面だけでなく自分の趣味や部活動にも打ち込める環境があると思います。特に部活動は様々な部活がありますが、どこも活発に活動しており、充実した生活を送ることができると思います。私はバスケットボール部に所属していますが、イベントが多く部員の仲が深まり、勉強面も優秀な先輩方やOBの先生方のサポートが手厚かつたりする点も魅力だと思います。

自分の理想とする歯科医師に向けて、皆さんも是非長崎大学歯学部で密度の濃い6年間を過ごしませんか。

在学生

田村 優果

歯学科 6年次生



実りある6年間を、 長崎大学で!

歯学部での5年間は出会いに恵まれ、大きく成長し、人生においてとても大切な時間となりました。

現在私は5年後期～6年前期まで行われる臨床実習に日々励んでいます。今まで教科書で学んだ知識が重要なのはもちろんですが、実際に患者さんと向き合って学ばせていただくことも多くあります。歯科も矯正や口腔外科など分野が分かれしており、約2か月ごとに様々な診療科を回ります。どこへ行ても興味が湧き、充実した日々を送っています。

部活動は剣道部に入部し稽古に励んできました。初心者から始めて今年の夏ようやく成果が実り、試合で初勝利をおさめました。辛い時、先生や先輩方、部員達の存在に何度も救われました。新入生の皆さんにもぜひ部活動に入って仲間との絆を育んでほしいです。

歯学部での生活は決して楽なものではありませんが、6年間積み上げた努力や人脈は自身を大きく成長させ、これから的人生で大きな支えとなります。私たちと一緒に長崎大学歯学部で学びませんか。

皆さんが長崎大学に入学し、実りある6年間を過ごされることを願っています。

歯学部の入試システム

入学志願者は、大学入学共通テストの受験を必要とします。
入試は、一般選抜(前期日程)試験と総合型選抜及び学校推薦型選抜です。
これらの詳細は募集要項をご覧ください。

10
Oct.

11
Nov.

12
Dec.

ガ
ン
バ
レ
!!

大学入学 共通テスト

出願受付
10月上旬

総合型選抜では、
歯学部ゼミナール
が開講されます。



一般選抜(前期) 定員40人

出願受付
11月上旬

第1次選考
11月下旬

総合型選抜 定員5人

学校推薦型選抜 定員5人

出願受付
12月中旬

※学校推薦型選抜合格者は、歯科医師の資格に加え、長崎大学で博士(歯学)の学位も取得することを前提とした、歯学研究コース(基本定員20人)を履修します。

■入学料 282,000円

■授業料(前・後期に分けて納入)

年額 535,800円

※入学料、授業料については改正される
(金額未定)可能性があります。

■入学料・授業料免除、 入学料徴収猶予

経済的理由により入学料の納付が困難な場合、全額または半額が免除される制度があります。

また、経済的理由により、入学手続き期間内に入学料の納付が困難と認められる場合、徴収猶予制度があります。

■諸納付金等

○入学年度納入額

種別	金額(円)	備考
学生教育研究災害傷害保険	4,800	6年間
学研災付帯賠償責任保険(付帯保険)	3,000	6年間(Cコース)
歯学部教育後援会費	80,000	6年間
歯学部学友会費	36,000	6年間
新入生合宿研修費	2,500	参考(R1年度金額)
合計	126,300	

参考

上記以外の諸納付金等

臨床実習開始前の各種予防接種費(約10,000円)が必要となります。また、主に4年次に行う口腔生命科学各論IIの実習において使用する模型等の実習器具の代金(約300,000円)が必要となります。

4年次生

学生の能力と適性について、全国的に一定水準を確保するための全国共通の標準評価試験である臨床実習開始前の共用試験(CBT,OSCE)の受験料(令和6年度38,000円)が必要となります。

5年次生

臨床実習でその後の臨床研修へと繋がる臨床能力の習得状況を測定するための全国共通の標準評価試験である診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(POST-CC PX)の受験料(令和6年度30,000円)が必要となります。また歯科医師国家試験受験手数料(令和5年度18,900円)が必要となります。

※一般的な学生で教科書及び参考書代は、各学年で約20,000~50,000円程度、また6年次国家試験対策(参考書、模試等)で約100,000円程度の出費が見込まれます。

■奨学金

①日本学生支援機構

日本学生支援機構では人物・学業に優れ、経済的理由で修学が困難な学生に対し奨学生の貸与を行っています。

②各種奨学生

日本学生支援機構の他にも地方自治体及び民間企業などで奨学生制度を設けている団体もあり、長崎大学でその募集を行っています。

【日本学生支援機構】(利率は変更されることがあります)

奨学生の種類	貸与月額	返還利率
大学第一種 奨学生	自宅 通学者	20,000円、 30,000円 または 45,000円
	自宅外 通学者	20,000円、 30,000円、 40,000円 または 51,000円
大学第二種 奨学生	月額 20,000円 ~ 120,000円 (10,000円刻み)	卒業後の 利率 3%上限

1
Jan.

2
Feb.

3
Mar.



大学入学共通テスト 1月

出願受付
1月下旬

試験
2/25、26

合格者発表
3月上旬

入学手続
3月中旬

第2次選考
1月下旬

合格者発表
2月上旬

入学手続
2月中旬

試験
1月下旬

合格者発表
2月上旬

入学手續
2月中旬

学校推薦型 選抜入試で 求める人物像

将来我が国の最先端歯科口腔医療、歯科口腔医学研究又は歯科口腔医学教育を担うことを目指し、歯学部卒業後、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)に進学するための、歯学研究コースを履修することを確約する人。

■歯科医師国家試験合格状況

年 度	新 卒			既 卒			計	全国平均
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率		
第113回(令和2年)	45	32	71.1%	23	11	47.8%	63.2%	65.6%
第114回(令和3年)	46	38	82.6%	24	9	37.5%	67.1%	64.6%
第115回(令和4年)	45	36	80.0%	23	8	34.8%	64.7%	61.6%
第116回(令和5年)	52	42	80.8%	21	10	47.6%	71.2%	63.5%
第117回(令和6年)	44	41	93.2%	20	12	60.0%	82.8%	66.1%
過去5年間	232	189	81.5%	111	50	45.0%	69.7%	64.3%

歯学部生専用の
多目的スペースができました。
5~6年生になると専有の自習机が
完備されています。合格に向けて
頑張るのみです。



日々成長!
いろんなことに挑戦して
自分の世界を広げよう!



歯学研究コース
研究発表会





Circle Activities

10
OCTOBER

- 後期授業開始
- 臨床実習開始
(5年生)
(離島実習含む)

11
NOVEMBER

- 歯学部祭
- 卒業試験
(6年生)

12
DECEMBER

冬季休業

1
JANUARY

- 後期試験
(1年生)

2
FEBRUARY

- 後期試験
(2~4年生)
- 歯科医師国家試験
(6年生)

3
MARCH

卒業式



卒業式



サークル活動

陸上競技部

女子バスケットボール部

剣道部

卓球部

ゴルフ部

水泳部

男子バスケットボール部

サッカー部

バドミントン部

準硬式野球部

男子バレーボール部

硬式庭球部

弓道部

女子バレーボール部

柔道部

ボウリング部

茶道部

施設紹介

in 坂本キャンパス



① 入口



② 長坂



③ 被爆に耐え抜いた大楠



④ 陶板レリーフ「長崎のあけぼの」



⑤ 正面玄関



⑥ 福利厚生棟(食堂、自習室など)



⑦ 歯学部教育研究棟



⑧ 長崎大学病院玄関



軍艦島(端島)



おくんち(龍踊り)

長崎について

古くから外国と交流があった長崎。
街を歩けば様々な文化と長い歴史に
出会うことができます。

「グラバー園」などの
魅力的な観光名所はもちろん、
「世界新三大夜景」にも選出された
「長崎市の夜景」は必見です!

その他にも、いろんなイベントが見所いっぱい!
たくさんのことを行なってみよう!!



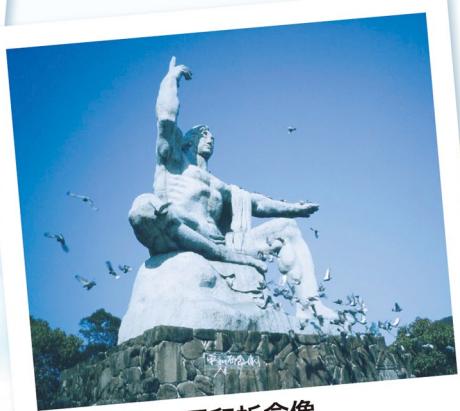
帆船まつり



ランタンフェスティバル(孔子廟会場)



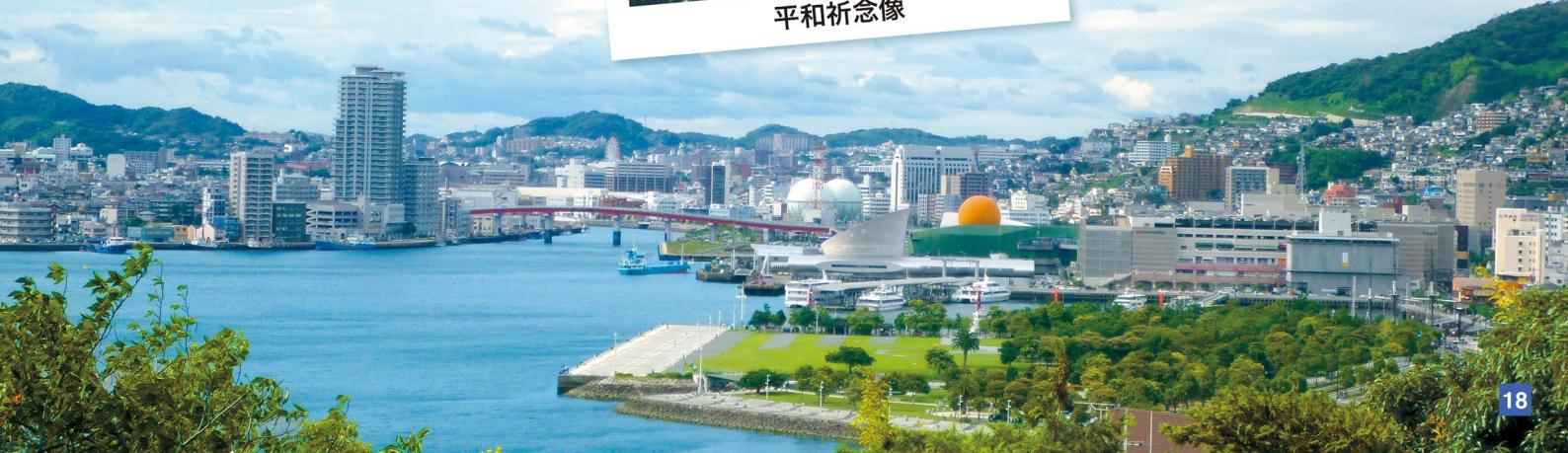
浦上天主堂



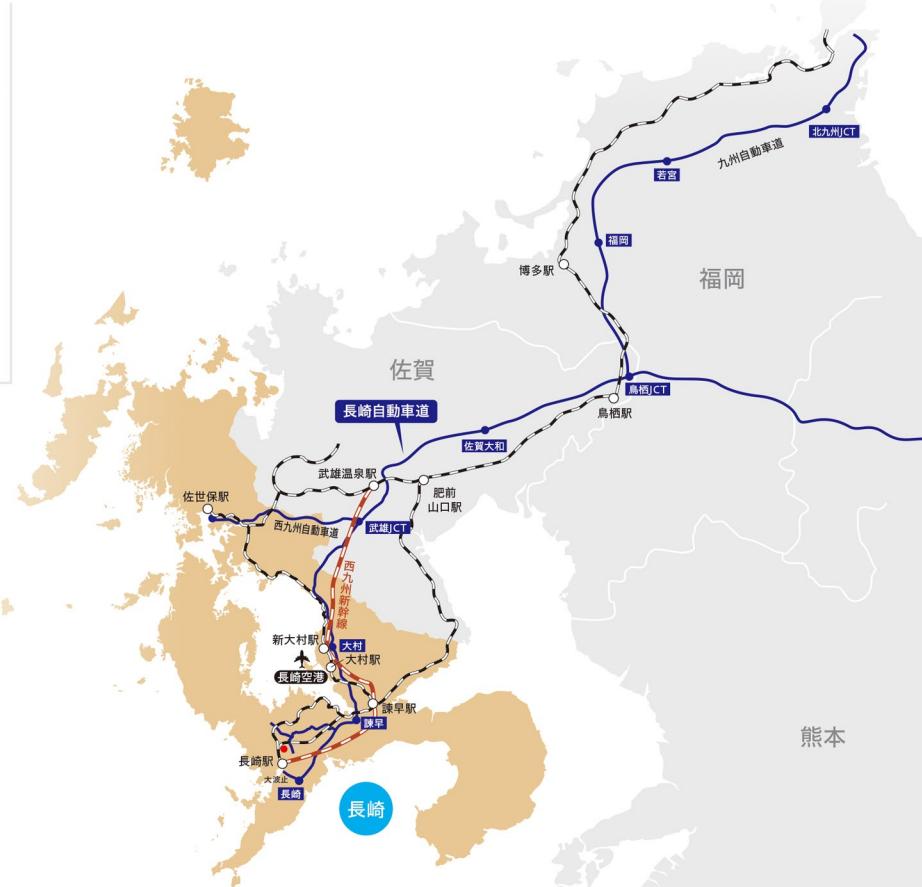
平和祈念像



グラバー園



アクセス ACCESS



■歯学部についてのお問い合わせは

長崎大学歯学部学務係 TEL 095-819-7613

長崎大学生命医科学域・研究所事務部歯学系事務室(学務)
〒852-8588 長崎市坂本1-7-1

■入試についてのお問い合わせは

長崎大学学生支援部入試課
〒852-8521 長崎市文教町1-14 TEL 095-819-2111

■インターネットのホームページでは随時最新の情報をご案内しています。

<https://www.de.nagasaki-u.ac.jp>